

〔A類社会コース，A類現代教育実践コース環境教育プログラム，B類社会コース 対象〕

歴史総合・世界史探究 解答例

令和8年度

一般選抜前期

I

問1

A ② C ⑥

問2

明治維新を実行して立憲国家となり、近代化を達成しつつ、琉球を日本に統合して沖縄県とし、日清戦争を戦って勝利したこと。

問3

太平天国軍のこと（太平天国も可）

問4

- ・日清戦争に敗戦し、下関講和条約締結が清朝国内では戊戌変法を引き起こしたこと。
- ・その変法は立憲君主制（立憲君主政）国家を目指すも、戊戌政変によりいったんは挫折せしめられたが、義和団戦争敗戦によって、清末新政が進められたこと。
- ・清末新政では立憲君主制（立憲君主政）国家化を目指したこと。
- ・戊戌変法時に示されたように、日本が手本だったこと。
- ・科举廃止となり、日本で法政知識を学ぶことが官途への道として認識されるようになったこと。

問5

- ・日本が清に先駆けて西洋的近代化を達成していたこと。
 - ・日清・日露戦争に勝利したこと。
- （なお、欧米に比べて経費が安く、地理的に近いことや漢字を使っていること、国際的地位向上を目ざしたこと、も可。）

II

問1

A 長安 B 開封 C デリー D コンスタンティノープル（イスタンブル）

問2

急激な統一政策と対外戦争や土木行事の負担により秦への反感が高まっていたため、秦に征服された地方を中心に陳勝・呉広の乱に代表される農民反乱が各地で起こった。

問3

ゾロアスター教（もしくは、マニ教、ネストリウス派キリスト教、イスラーム教などのいずれか）

問4

長安が整然たるプランに基づいて作られた都市であったのに対し、開封は市場や繁華街が広がる商業都市であり、また、中国の南北を結ぶ運河の近くにも位置していた。

問5

両税法

〔A類社会コース，A類現代教育実践コース環境教育プログラム，B類社会コース 対象〕

歴史総合・世界史探究 解答例

令和8年度

一般選抜前期

問6

ヒンドゥー教徒の社会の仕組みには介入せず、ジズヤを徴収するだけにとどめた。

もしくは、「当初、ヒンドゥー教寺院を破壊することもあったが、次第に融和的な政策に転じた。」という趣旨でも可。

問7

セリム1世 シリア・エジプトを征服して、イスラーム教の二大聖地（メッカ）と（メデ
ィナ）の保護権を獲得した。

スレイマン1世 ハンガリーを征服し、1529年には、ハプスブルク家の本拠地（ウィーン）
を包囲した。

Ⅲ

問1

ペロポネソス同盟 スパルタ

アテナイではペリクレスの指導の下で成年男性市民による民会を中心に民主主義が実現し、
繁栄を誇ったが、ペロポネソス戦争が始まると、疫病の流行のなかでペリクレスが死去し衆
愚政治に陥る中で弱体化した。

問2

（1）

教皇は、聖職者の倫理的刷新を掲げて聖職売買や妻帯を禁じるとともに、俗人による聖職者
の叙任を禁止した。これは、皇帝との間で叙任権闘争を引き起こした。

（2）ヴォルムス協約

聖職者への叙任は教皇が行うこととされ、教皇権は皇帝や国王に対して優位に立った。

問3

ナポレオン戦争後、穀物の輸入を規制して地主を保護した穀物法を、産業資本家たちによる
反穀物法同盟などの運動を受けて、1848年に撤廃した。東インド会社が茶の輸入を独占し
ていたが、1813年東インド会社のインド貿易独占権を廃止、33年には中国貿易独占権を撤
廃した。1807年には、カリブ海諸島の砂糖の関税輸入の引き下げに反対する砂糖プランタ
ーに圧力を加えるべき奴隷貿易を廃止し、1833年には奴隷制度を廃止した。

問4

（1）

七月革命で成立した七月王政の下、自由主義政策によって工業化が進展し、ブルジョワジ
ーと労働者は増えたが、選挙権保持者は人口の1％に満たず、少数の大ブルジョワジーが優位
を占める政権であった。

（2）選挙法改正運動から始まった二月革命で国王は退位し、社会主義者も加わる臨時政府
（第二共和政）ができた。4月の総選挙で社会主義勢力が敗北するなか、労働者の6月蜂起

〔A類社会コース，A類現代教育実践コース環境教育プログラム，B類社会コース 対象〕

歴史総合・世界史探究 解答例

令和8年度

一般選抜前期

は弾圧されて臨時政府は保守化した。12月の大統領選挙でレイ・ナポレオンが大勝した。

問5

(1)

1938年3月にオーストリアを併合したドイツは、チェコスロヴァキア内のドイツ人居住地
区ズデーテン地方の割譲を求めた。これをチェコスロヴァキアが拒否する中で、会談が開催
された。

(2)

宥和政策

(3)

ドイツは、会談においてさらなる領土要求はおこなわないという約束で割譲を認めさせた
ものの、これを破り、1939年にチェコスロヴァキアを解体し、西部を併合、東部を保護国
とした。39年8月にはソ連と独ソ不可侵条約を結び、9月にポーランドに侵攻した。

IV

問1

- A ホセ・リサール フィリピン
- B ガンジー（ガンディー） インド
- C ファン・ボー・チャウ（ファン＝ボー＝チャウも可） ベトナム
- D スカルノ インドネシア

問2

逮捕状なしに逮捕し、裁判なしに投獄できる権限をインド総督に与えた法律で、民族運動を
抑圧・弾圧するため。

問3

戊戌政変によって変法運動に挫折し、日本に亡命してきていたため。

問4

トンズー（東遊）運動

問5

米ソ（東西）対立の冷戦下において、いわゆる第三世界（アジア・アフリカ諸国）の存在を
アピールし、反帝国主義、反植民地主義、民族自決の精神を示したことにより、アジア、ア
フリカ、ラテンアメリカなどの地域において民族主義運動を生んだ。